

2024 第 123RUTC 答えの永遠 - 日本伝道集会

1 講:24 時見張ること(奥義のやぐら)

日時/場所 2024 年 10 月 8 日-9 日、荒川区民会館

説教 柳光洙牧師 (録音整理:チャ・ドンホ牧師)

主題:世界を生かす日本の見張り人(イザ 62:6-12)

'24.10.08 日本東京 1 講

ー世界を生かす日本の見張り人ー

24 見張ること (奥義のやぐら)	
サタン 12	見張り人 イザ 62:1-12 <u>使 1:1-8</u> 19:8 I コリ 3:16

序ー証人

- 1.創 37:11
- 2.出 2:1-10
- 3.I サム 1:9-11
- 4.I サム 17:18
- 5.II 列 2:9-11
- 6.ダニ 1:8-9
- 7.使 1:3、8

本

1.見張り人の理由

- 生かす見張り人
- 1)信徒ーユダヤ人
(マタ 12:26-30)
 - 2)福音を邪魔する者
(II コリ 10:4-5)
 - 3)ローマ
(ヨハ 16:11-14)

2.見張り人の祝福

- 福音の見張り人
- 1)カルバルの丘
(ヨハ 19:30)
 - 2)オリブ山
 - 3)マルコの
屋上の部屋

3.見張り人の答え

- 幸せの見張り人
- 1)サミット
 - 2)Healing
 - 3)特別やぐら

結

- 1.3 集中
(刻印)
- 2.御座
(7.7.7)
神の国
こと (暗闇)
- 3.証人

* 序論

▲「私は困難の中にいるのに、どのようにすれば良いのでしょうか」そんな方もいるでしょう。もしかしたら、私は健康が良くないので難しい、そんな方もいるでしょう。今回、答えを見つけて帰ってください。また、私たちの牧師、宣教師が「どのように、はやく日本福音化ができるのか」そこに対する答えが今回の集会に出て来ると思います。また、いま私たちのレムナントがいます。どんなレムナントになれば良いのでしょうか。

▲事実は、このような質問はだれでもします。私が遠い昔に、このような質問をしました。私が引き受けた分野で復興もさせなければならず、このようにしなければならないでしょう。ところで、私には力がないのです。ことばは簡単ですが、それができる力がありません。それゆえ、力があればすれば良いのですが、私が力がないということです。ある日です。私だけがそうなのではなく、教会の信徒がほとんど難しいのです。そのとき、私が、ああ、私もそうで、教会の信徒が答えを受けることができないのだな、これを分かりました。ほとんど対話すること見れば、答えを受けることができることではありません。自分自身もそうでした。そのときです。私にとっても重要な神様のみことばが答えとして与えられました。だれにでもある答えですが、私はそれが心に当たって来たのです。「祈りをどのようにしなければならないのだろうか」それも昔によく分かりませんでした。皆さんは祈りをどのようにしているのか分かりませんが、私は昔には祈りが分かりませんでした。時間をちょっと定めて祈る、続けることもできません。

▲それゆえ、私がとても重要な神様のみことばを握りました。神様が、あなたを見張り人として立てた、このとき、見張り人は 24 でしょう。そのときに、祈りを悟りました。祈りは時間を決めるのでしょうか。い

や、見張り人が民が寝ているときに守るのに、寝れば良いかということです。私が寝る時は、ほかの人に責任をもってもらって立たせておいて、そうして寝るでしょう。もし、敵軍が攻め込んで来た、見張り人が見えて知らせなければならぬでしょう。村に火災が起きた、見張り人が見て知らせなければならぬでしょう。私はここで、ものすごい答えが出て来たのです。神様があなたを見張り人として立てたと言われるのです。その話に、私はすべての祈りを悟るようになりました。本当です。それまで私は祈りを分かっていなかったのです。それゆえ、場所、時間を定めて祈りに行く、3日もできません。3日も実践できないのです。山祈りも行って、どうにか一、二回で、できません。それが何の見張り人でしょうか。

▲そのときから、私が朝に目を覚ますと祈りを始めます、無条件に。また、昼に見れば、人々はほとんどみな難しいのです。ほとんどみな間違っているのではないのですが、答えを受けることはできません。それゆえ、聞く話、見ることを全部祈りに変えました。そして、夜には、仕方なく、私は説教をすべきでしょう。ほかの人は分かりません。私は終えた後に、一人で行って睡眠もとらずに説教準備をしなければなりません。こうして見たら、夜には祈らざるをえません。それが、でたらめだということです。明日説教するために祈って準備しなければならないのは。そうではなくて、夜にすべての答えを得ることができる祈り時間を持つようになったのです。私はこのようにしたのですが、驚きました。聖書にあるみことばが成就し始めるのが見えるのです。私が何かが上手にした、大きくした、この話ではなくて、神様のみことばが成就するのを見るようになります。

▲それで今回の主題が「世界を生かす日本の見張り人」です。

これが主題です。なぜそうなのでしょう。私が見る時は、見張り人が何の話なのか分かれば、世界福音化が一番上手にできる条件を持っている国が日本です。237 か国をみな通ってみたものではありませんが、ほとんど皆行ってみました。世界福音化できる最も良い条件を持っている国が日本です。皆さんが落胆することなく、「神様が私を見張り人として立てた！」目が覚めたら祈ってください。眠りにつく前に祈ってください。難しいことが多いです。全部、祈りに変えてください。人々は自分の考えどおりに話します。全部、祈りに変えてください。いや、このようにしたのですが、驚くべきことが起こるのです。これだけしたのですが、重要なことが見えました。

▲2024 日本伝道集会 1 講：「24 時見張ること(奥義のやぐら)」一何が見えたかということ、今、見張り人は「24 時見張ること」が何かを知ってください。そうでしょう。見張り人なら、見張ることは何かということです。これを知るようになったのです。そのとき、聖書で重要なことが見えました。

①サタン(12)-サタンは今も眠ることなく、12 の戦略で皆さんを攻撃しています。

②イザ 62:6-12、使 1:1-8、使 19:8、I コリ 3:16、それゆえ、神様が見張り人である主のしもべに与えられた約束があります。イザ 62:6-12 に、わたしがあなたをイスラエルの見張り人として立てた、終日終夜、主を休ませてはならない。神様がこのみことばを与えられたので、あ、そうだと思いました。皆さん 1 人が今日この祈りの見張り人として立てられるのですが、イエス様はどのようにされたのでしょうか。途方もない見張り人を立てられたのですが、イエス様が神の国、御座の力を 40 日間説明されました。この話をパウロがわかったのです。これが見張り人です。あ、そうだな、私は今まで間違った見張り人をしていました。イエス様がこの暗闇の勢力に勝つように御座の力を 40 日説明されました。そうでしょう。今、皆さんがこの契約を握れば、皆さんの関係している所で暗闇が崩れるということです。ここにいる方々はひとりも落胆することなく、自分の中にこの奥義のやぐらを建ててください。祈りによって、私たちはできません。それゆえ、パウロはまた話しました。あなたがたが神様の宮であること、神様の聖霊があなた

がたの中に住んでおられる、簡単に話せば、見張り人はやぐらを守る人々ですが、明日に話しますが、私の中に奥義のやぐらが建つのです。無条件、落胆せずに始めてください。私は実際、生きた証人を見ました。別にたくさん学んだのでもなくて、お金を持っていたのでもなくて、何もなかったのですが。私の母が祈りの見張り人として立ちました。私は見たのです。あ、これが祈りの見張り人だな、どれだけ働きが起きたでしょうか。話す必要もないでしょう。知っている人は皆知っています。

▲序論-証人

このとき、証拠が見えるようになり始めました。

1) 創 37:11

▲創 37:11、ヤコブです。ある日、ヨセフが消えていなくなりました。ところで聖書には、ヤコブがヨセフにある神様のみことばを心にとどめました。いなくなってしまったヨセフを置いてヤコブは祈りの見張り人になったのです。そうでしょう。このヨセフは奴隷に売られたのです。ところで、祈りの見張り人になりました。その後どんなことが起こったのでしょうか。想像できません。

▲私はこのみことばの証拠を見たのです。それゆえ、絶対に落胆しないでください。このやぐら(サタンの 12 戦略)を作らずに、このやぐら(イザ 62:6-12、使 1:1-8、使 19:8、I コリ 3:16)を作ってください。やぐらを建てる前に、私の中に先に奥義のやぐらを作ってください。だれも皆さんに勝つことができないでしょう。何でしょうか。暗闇の権威があなたに打ち勝てないと、イエス様がそう言われました。よみの力があなたに勝つことができないのです。なぜでしょうか。私はこれを悟って、私の中にこの神様の奥義のやぐらを建てる、これがすべての始まりだと思いました。私は難しいことが多かったのです。くやしいことが多かったのですが、関係ありません。私はここにいます。今日から始めてくださいということです。いつ答えが来るのか。それも気を遣わずに、いつ答えが来るでしょうか。成される時までやれば良いのです。ヨセフがそうしました。

2) 出 2:1-10

▲では、聖書を見てください。完全に息子がすべて死ぬことになったでしょう。モーセの母が、簡単に話せば見張り人のやぐらを建てたのです。知っているでしょう。とうてい信じられないことが起こりました。どんなことが起こったのでしょうか。それがこのやぐらです。人々が言う時は普通に聞きます。イエス様が地の果てまで証人になると、その通りになります。日本の領土に本当が契約を持っている見張り人が出てくれば、世界福音化の最も大きい門が開かれるでしょう。

3) I サム 1:9-11

▲また、女性一人の見張り人が出て来たのです。だれでしょうか。ハンナです。このハンナが祈りの見張り人になったのです。どんなことが起こったのでしょうか。想像を超えます。そのくらいの力で皆さんは日本を福音化して、世界を福音化するということです。信じてください。私の中にとっても簡単に、祈りでやぐらを建ててください。

4) I サム 17:18

▲見てください。今、ダビデの父です。エッサイです。エッサイはダビデに向かった祈りの見張り人です。戦場に行って必ずしるしを持って来なさい、お使いに送るとき、ここで働きが起こったのです。

5) II 列 2:9-11

▲皆さん、聖書を詳しく見てください。II 列 2 章のエリシャです。ほかの人は何の関心もないのに、エリシ

ャだけ祈りの見張り人になったのです。エリシャを通してドタンの町運動が起こりました。逃してはなりません。「私は今日から見張り人の奥義のやぐらを建てます!」だれも分かりません。それで奪っていくともありません。さらに多くの牧師も信じないので、皆さんが祈れば働きが起こるようになっていきます。多くの人が尋ねます。「牧師先生、どのように世界福音化しましたか」分かりません。単に祈っているのに、神様のみことばが働いて、神様が働かれて、今世界でレムナントが起きています。

6) ダニ 1:8-9

▲ある日、ダニエルが心を定めました。私がこの民族を生かす見張り人になる、イザヤの話をわかったのです。これが作られたということです。ですから、サタンのやぐらが崩れて、このやぐらができると、奥義のやぐらです。私の中にできるということです。どんなことが起こったのかは、皆さんは知っているでしょう。イエス様が神の国のことを 40 日間説明して、証人となると言われました。

▲**本論**では、すると、どんな見張り人になるのでしょうか。どのように見張り人として祝福を始めるのでしょうか。

1. 見張り人の理由 - 「生かす見張り人」

▲ 1 つ目です。皆さんを見張り人と呼ばれた理由は何でしょうか。なぜ私に見張り人だと神様は言われるのでしょうか。何の力もない私に、なぜ神様が見張り人になりなさいと言われたのかということです。なぜ、この祝福を準備して見張り人なののでしょうか。必ず持って行ってください。理由がなんでしょうか。皆さんを、生かす見張り人として呼ばれました。

1) 教会信徒-ユダヤ人(マタ 12:26-30)

▲ 1 つ目。教会の信徒が死にかかっています。皆さん、教会に行って話をたくさんしてみてください。信仰が一つも育ちません。そうでしょう。教会信徒が集まって、話すことを聞いてみてください。信仰が一つも生まれません。彼らを生かさなければなりません。例をあげます。証拠、ユダヤ人はわざわざをまぬがれることができませんでした。そうでしょう。この話が聞き取れなければ、イエス様が言われました。あなたの中にサタンが家を建てた、イエス様が言われたでしょう。

2) 福音を邪魔する者(Ⅱコリ 10:4-5)

▲さらに福音を邪魔する者、とても多いのです。その人々を生かしなさい。事實は、ペテロチームが、初めて信じる人々は、気を付けなければなりません。ペテロチームは、ローマ福音化はできませんでした。福音を邪魔しました。長老が祈りの見張り人になれば、教会を生かす長老になりますが、この見張り人にならなければ邪魔をします。それが何の話でしょうか。本人も分からないのです。Ⅱコリ 10:4-5 にサタンが要塞を建てておいたのです。そうでしょう。レムナントは、少しも迷ってはなりません。教会の信徒は祈りの答えを受けられずにいます。宗教人は、ますます難しくなっています。

3) ローマ(ヨハ 16:11-14)

▲ローマ、祝福を受けられずにいます。確実です。レムナントがこれ持って学校に行って、留学にも行って勉強してください。ヨハ 16 章に、サタンの王国の中に捕えられていると言われています。確実です。皆さんを見張り人と呼ばれた理由、知ってください。ユダヤ人、わざわざを受けるようになっています。止めなければなりません。そうでしょう。マルコの屋上の部屋の教会、今、危機が来しました。止めなければなりません。わざわざを止めなければなりません。ローマ、戦争を起こすしかありません。毎日、

人を殺すこと、これ生かしてください。必ず覚えてください。

2. 見張り人の祝福 - 「福音の見張り人」

▲皆さんが見張り人になって受ける祝福です。知っておいてください。それゆえ、福音の見張り人と呼ばれたのです。単に生かす見張り人程度ではなくて、福音の見張り人...

1) カルバリの丘(ヨハ 19:30)

▲1つ目。カルバリの丘で皆さんのすべてを解決したとなっています。信じてください。皆さんが本当に信じる瞬間、暗闇は砕かれるのです。皆さんをこの見張り人と呼ばれました。明日、出て来ます。

2) オリーブ山

▲オリーブ山で、皆さんに答えを受けることができるやぐら/旅程/道しるべを与えてくださったのです。そうでしょう。ほかの人が奪って行くこともできません。御座のやぐら/旅程/道しるべ、私は信じます。正しい見張り人になるのか、何の見張り人になるのか、私が昔に分らなかったのです。イエス様が言われました。40 日間、神の国について説明されました。それが、まさにオリーブ山です。御座の力、旅程、道しるべ...

3) マルコの屋上の部屋

▲そして、为什么呢。ある日、マルコの屋上の部屋で力を体験するようになります。ただ聖霊があなたの上に臨めば力を受けて、簡単です。無条件に見張り人になってください。

▲今日、親のせいで私はとても私たちの家が貧しいと考えを持っているレムナントは一切変えて行ってください。それを変えなければ、絶対にうまくいきません。私は私たちのそれを見つめて、神様が私を証人と呼ばれたのだと。昔に私の家、教会がとても病気になるまで貧しかったのです。無能でした。そのときから、私が祈りました。証人、それで一度も病んだことはありません。証人、奇跡でしょう。病んでいるところはありません。証人、自慢ではなくて証人、お金のために苦労したことはありません。証人、本当です。教会復興がうまくできず苦労する、ありません。行く所ごとに働きが起きました。絶対、私の力ではありません。見張り人、信じてください。知っているでしょう。ああ、私は夫を誤って選んで、変えてください。夫、そこに希望はありません。私が生かさなければならぬと考えてください。それでこそ答えが来ます。私が妻を誤って選んだ、その考えを変えてください。私が妻を生かさなければならぬ、証人、これをしっかりと覚えてください。

▲日本で福音運動が起これば、明日に話しますが、日本でやぐらが建てば、世界福音化は本当に簡単に起こります。私は本当に、歩き回った中で、このように楽な国はありません。日本語を私は学んでいませんが、学ばなくても大丈夫です。そのまま行って身振り手振りで良いのです。スーパーがある所に行けば、すべてあります。そして、どれくらい便利にしているのでしょうか。していることを見ればとても、とても配慮をたくさんしています。これは世界福音化できる国だな、世界福音化するレムナントが日本に来て何かたくさん学ぶべきです。私は今回、アメリカに行って、悪口を少し言いました。世界で一番配慮がないのがアメリカ、アメリカは悟るべきです。それゆえ、私は日本をほめるのではなく、事実を話しています。ですから、日本レムナントがこれから起きれば、世界福音化にとっても助けなるでしょう。そして、私が先ほども話しましたが、数多くのレムナントが韓国に来て訓練を受けました。ほとんどみな崩れて離れました。ただ生き残っているのが日本レムナントです。不思議でしょう。韓国語はかなり難しいのです。言葉もどのようにはやく学ぶのでしょうか。それゆえ、私は日本に来るたびにとても神様に感謝しています。このような宣教師がいるこ

と、とても感謝します。福音だけ伝える宣教師がいることをとても感謝します。いまは皆さんには始まりです。イエス様の公生涯3年、それは違うのです。オリーブ山で話されたその時からが始まりです。

3. 見張り人の答え - 「幸せの見張り人」

▲皆さんは単なる見張り人ではなくて、見張り人が一番最初に受ける答えがあります。

1) サミット

▲その最初は何でしょうか。神様が皆さんをサミットとして立てられたのです。いや、ヨセフが就職をしようとしたのではなくて、総理になりました。さらに捕虜に捕えられたのですが、総理になりました。羊飼いであったダビデが王になりました。

2) 癒やし

▲理由は何でしょうか。皆さんが見張り人になって、多くの人を癒やしなさいと。癒やしてください。これだけ作られれば、癒やされます。

3) 特別やぐら

▲そして、日本全域に特別やぐらを建ててください。特別やぐらとは何でしょうか。このやぐらだということ。イエス様がおっしゃったこと、神様は皆さんを見張り人として呼ばれました。

▲それゆえ、今回の集会、見張り人には何が必要でしょうか。見張り人は、何を作るのでしょうか。それは明日2講のとき、皆さんはどのように世界福音化するのでしょうか。それは最後の3講、今日とても重要な決断、神様が私を見張り人と呼ばれたのです。私は強大国はうらやましくありません。なぜでしょうか。凄じいわざわいが臨むようになります。私たちが行って助けるのです。私は40年間、伝道して教会信徒と別に親しく話をしませんでした。なぜでしょうか。とても答えを受けられない話をたくさんするので。契約を握ってください。それゆえ、皆さんを通して人々が生かされるように、そして、本当に幸せを味わう見張り人として、これを今日、最初の講義で握るように願います。

▲答えが早く来なくても落胆しないでください。落胆せずに、私がこの契約をしっかりと握る瞬間に、その時から、すぐに始まったものではありません。この時刻表が過ぎ去ってです。私は祈りの奥義を知るようになりました。それゆえ、朝に起きれば、無条件、私は動きます。忙しいので、目が覚めると準備するのが忙しいということです。それで無条件に動かなければならないので、私の健康を回復する安らかな呼吸を継続して祈ります。時間がありません。準備して、はやく行かなければなりません。そのときからは、出会いが始まります。全部、祈りに変えます。行く時は、7やぐら/旅程/道しるべを集中的に祈ります。今夜には、明日に皆さんにメッセージをするので、メッセージに私が恵みを受ける必要があります。そして、答えを受けなければなりません。今日1講は何でしょうか。私の話をしてはいけないうえ。神様が最も難しい時に立てられた見張り人の祝福を日本の弟子たちに、イエス様が直接語られたこの見張り人の使命を日本の弟子たちに、みな悟れなかったのですが、パウロだけが悟りました。この奥義を日本の弟子たちに、間違いありません。私は皆さんを教えに来たものではありません。証人として来ました。私を知っている人は皆分かります。完全に滅亡の中にいたのですが、証人として立てられました。

* 結論

▲それゆえ、今から始めてください。

1) 3 集中(刻印)

▲3 集中を始めてください。簡単に話せば、見張り人の祈りを始めてください。すると、これがどんどん刻印されます。すると、これが根をおろします。後には、知らない間に体質になります。それを3セッティング、3 答えと言います。それはついて来ることです。

2) 御座(7/7/7)、神の国、こと(暗闇)

▲すると今、記憶してください。祈るたびに起こること、三つのことが起こるということです。祈るたびに目に見えない7 やぐらが作られます。そうでしょう。祈るたびに私が行くべき所に、その旅程の中に臨み始めるのです。皆さんの学業、職業、産業に働きが起こります。道しるべ、それゆえ、この時間に最も重要な御座の力が、これが7/7/7 ということです。このとき、二つのことが起こります。皆さんが行くべき所に、行ってもいないのに、そこに神の国が臨みます。イエス様が説明されました。神の国のことが起こります。このことが何でしょうか。神様は暗闇を打ち砕いて天の軍勢を送られます。今、起こっているでしょう。

3) 証人

▲心配せずに、ある日、神様は皆さんをその場に連れて行かれます。どこにでしょうか。証人の座に、皆さんが証人になって家系も生かします。皆さんが証人になって学校も生かして、職場に行って職場を生かして、どのように生かすのでしょうか。皆さんがこの見張り人として立っていれば、霊的問題を持っている人が癒やされるようになっていきます。今から、今晚から始めてください。見張り人として、主を休ませてはならない。40 日間、神の国のことを説明されました。この奥義をパウロが3 か月の間、ティラノで大胆に証ししました。すると、その次の答えはついて来ます。恐れてはなりません。パウロ、カエサル前に立ちます...

▲今回集まった方々にまた、日本に私は最高の集会となることをイエス・キリストの御名によって祝福します。お祈りします。

(祈り)

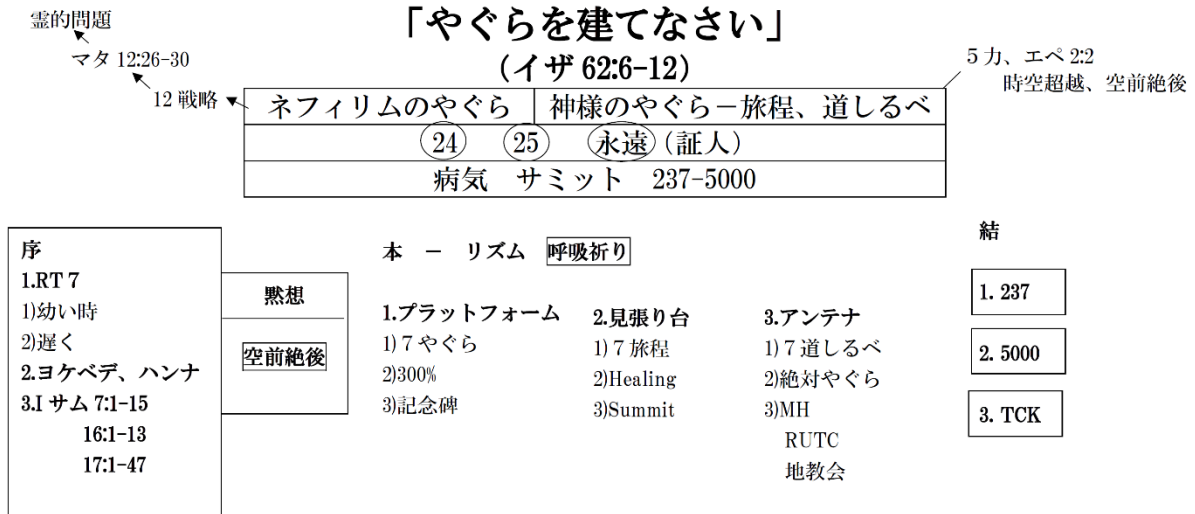
万王の王である主イエス・キリストの恵みと、神様の無限なる愛と、今働かれる聖霊の働きとが、見張り人として立つすべての弟子の上に、今からとこしえまでいつもともにありますように。アーメン

(The end)

2 講:ネフィリムやぐら X→神様のやぐら(旅程/道しるべ)を建てなさい!

主題:世界を生かす日本の見張り人(イザ 62:6-12)

'24.10.09 日本東京 2 講



* 序論

▲昨日の 1 講は、神様が皆さんを見張り人として立てられました、それゆえ、その奥義だけ持っていれば、生かす見張り人として、また、私たちの福音見張り人として、幸せな見張り人として生かされることが出来ます。

▲2024 日本伝道集会 2 講:「やぐらを建てなさい! (イザ 62:6-12)」

▲では、今日は二つ目講義で必ず覚えることは、今、私たちに最も必要なのは何でしょうか。金土日時代を開けば、私たちのレムナントに最も必要なことは何なのか。このような部分を持って帰ってください。実際の病気の癒やしはどのようにするのでしょうか。また、レムナントは勉強がまた大変ですが、どのように勉強するのでしょうか。ひとまず、見張り人はやぐらを建ててください。そうでしょう。やぐらがあつてこそ、見張り人になるからです。ここで今とても重要なことがあります。必ず覚えてください。私が知っている限り、ほとんどの信徒が祈りがよくできません。なぜそうなのでしょう。もし私たちのレムナントが祈りができるなら、その子はすでに成功です。ところで、なぜできないのでしょうか。この部分を解決すべきです。祈ることができない状態になっているということです。

①ネフィリムやぐら→ 12 戦略→マタ 12:26-30→霊的問題

▲少し、何と言うのか、気分が良くない話でもあります。ネフィリムのやぐらが私に建っているのです。それで祈りができないのです。私たちは、それゆえ神様がキリストを約束され、完全に私たちに 7 やぐら / 旅程 / 道しるべを説明されたのです。では、これがそのまま終わるのではなくネフィリムやぐらが私にあるので、サタンの 12 の戦略が出てきます、私も知らない間に。そして私も知らない間にこのようになります。イエス様が言われたでしょう。このサタンがサタンのやぐらを建てたのです。皆さんの子どもに一番急ぐことが何か考えられますか。祈ることはできないのです。困るでしょう。もし、レムナントの中で祈りができるなら、世界を征服するようになるのですが、この部分を私たちが今、契約で握って祈らなければならないのです。

▲24/25/永遠(証人) - これができれば、どんなことが起こるのか知っているでしょう。レムナントは、どこにいても大丈夫です。このようになると、24、どこでも答えを見つけることができます。少しすれば神の国、25の答えが与えられます。すると本当です。行く所ごとにサミットになってしまいます。これが基準です。これがうまくできなくなっているということです。このようになるようにさせてください。これが皆さんの二つ目の使命です。昨日の1講は皆さんは1人がいてもかまいません。見張り人になるのです。この見張り人はやぐらを建てなければなりません。ここには、すべてのことがみな含まれています。

▲病氣、サミット、237(5千種族) - このようになれば、病氣も癒やされます。このようになれば、サミットにもなります。このようになれば、もう全世界を生かす証人になりますが、237を生かすようになります。単にいるのですが、私の中にすでにやぐらが建ったので、5千種族を生かすようになります。

②神様のやぐら/旅程/道しるべ-5力+エペ2:2+時空超越+空前絶後

▲では、急ぐことです。これがない状態で、皆さんはそれで良くて、レムナントがこれ(7/7/7)がない状態で外に出て行くということです。勉強もすべきで、すべてすることができるとは、これが(7/7/7)ないので。それゆえ、これは自然になくなります。神様のやぐらを建ててください。このやぐらを持って勉強しなさい。それを指して旅程と言います。行く所ごとに証拠が出て来ます。それを指して道しるべと言います。すると、心配しなくて良いのはプラットフォームが作られます。そのときから、光を照らすようになります。そのときから、完全にその人が霊的な神様の祝福を味わうようにさせられるということです。これをそのまま置いておけば、霊的問題が来ます。これを必ず変えてください。レムナントの基準もそうで、皆さんの基準もそうで、今、祈りができなくなっています。これができなければなりません。それが基準です。初めには、うまくできなくても、落胆せずに継続してください。それで、金土日時代を開いて手段、方法を選ぶことなく、聖書的なことを持ってレムナントに教えてください。皆さんがこの部分が成り立てば、5力が生まれます。単にできるのではなくて、世界福音化するほど5力が生じます。空中の權威を持つ支配者に勝つことができる力が生まれます。みな抜いても、時空超越する答えが与えられます。確かに来ます。このときから、レムナントと皆さんにはもう信仰生活が正しく始まる空前絶後の答えが来ます。

▲序論

1)レムナント7人

▲では、この部分が成り立つ人が出て来たのです。レムナント7人、レムナント7人がこれのできたのです。家にとっても困難が来たのですが、落胆せずにヨセフは祈り始めたのです。そのヨセフはどこでも祈ることができました。これが(24)できたのです。これが(24)答えです。大きな困難が来たのですが、ある人は落胆するようになるでしょう。困難が来れば、あきらめるでしょう。また、私たちは困難が来れば、病氣になるでしょう。ヨセフは、あまりにも大きな困難が来たのです。ところで、ヨセフはこの答えを持っていました。この神様のやぐらをぴったり持っていたのです。問題になることはありません。

(1)幼い時 - 皆さんがご存じのように、レムナント7人は、ほとんど幼い時にできたのです。

(2)遅く - また、モーセは80歳になってできました。ちょっと遅れてできる人もいます。

▲関係なく私たちの祈りの基準は何でしょうか。どんなやぐらを建てなければならぬのでしょうか。すると、目に見えないように答えが先に来ますが、皆さんが行く所に神の国が臨むのです。私の場合は、そのような体験をととてもたくさんしました。今、驚くべきことに、前にも話しましたが、私たちの釜山にあ

る教会の土地があるでしょう。それが本来、お祓いをする地です。ところで、ある人がその上に工場を作ったのです。私が予備軍訓練場から降りて、それを見ました。あ、この程度はあつてこそ教会になるのに、こう考えました。なので、その祈りをしたのですが、いや、想像を超えて、それが私たちの教会になったのです。また、私たちの徳坪修練場があるでしょう。本来、私たちが借りて使っていたでしょう。あ、このような修練場があつたら良いな、それが私たちのものになったでしょう。神様が行く所ごとに答えを与えてくださり、この重要な証拠を与えてくださったのですが、私の力ではなく、神の国が臨んだのです。レムナントは困難があつても大丈夫です。レムナントは家庭の背景がなくても大丈夫です。皆さんが神様のやぐらを持っていれば、どこでも勝つことができます。困難が来ても大丈夫です。

▲奴隷になったが、奴隷に行ったのです。今、考える時は皆さんは簡単だと思うでしょうが、その当時の奴隷は引っ張って行って売られるのです。睡眠をどこでとるのでしょうか。そのまま行って倉庫で寝ます。奴隷だから、それで、起きたら歯磨きして顔を洗っては、できません。それを歩いて引っ張っていくのです。ほかの人は馬に乗って行ったでしょう。しかし、この奴隷は引っ張られて行きます。行くときにどこか道で倒れた、そこで寝ます。ひょっとして死んだ、そのまま捨ててしまいます。それが奴隷です。それゆえ、顔を洗えないと、どうなるでしょうか。その人身売買する人に売られて、エジプトまで行くには数か月かかります。数か月の間に、顔を洗うことができないのが奴隷です。その当時に、顔があまりに洗えないから、調べてみることはできないのです。それゆえ、買っていく人は、口を開いて歯を見て価格を定めます。これは歯が2本しかない、価格がどんと落ちます。ところで歯がすべてある、高いのです。直ちに買って連れて行くのです。ヨセフがそこに引きずられて行ったのです。兄たちが売り飛ばしておいて、皆さん、考えてみてください。そうすると、衝撃を受けて病気になる。ヨセフが勝つことができる理由がありました。兄たちの中には、ネフィリムのやぐらがありましたが、ヨセフの中には神様のやぐらがあつたのです。これを祈って作ってください。皆さんが知っているように、冤罪を受けて監獄まで行ったでしょう。そこでも完全に、この答えが来ました。では、皆さんに本当に答えがくれば勝つことができます。私たちに希望があれば、耐えることができるでしょう。いくら困難の中に入っても、この答えが来れば十分に勝つことができます。私たちの日本の働き人、基準をここに置いてください。すると作品が出て来るのです。このときから何になるのでしょうか。証人、証人になります。皆さんは証人です。この契約を握って今から始めてください。

2) ヨケベデ、ハンナ

▲では、親の中にある例をあげてみます。ヨケベデとハンナでした。このヨケベデとハンナが、奥義の祈りがあつたのです。神様のやぐらがあつたということです。ですから、こういう重要な人物を育てるようになったでしょう。

3) I サム 7:1-15、16:1-13、17:1-47

▲指導者一人だけ見ましょう。この奥義を持っている指導者サムエル1人が出て来ると、この働きが起こったのです。ミツパ運動を起こしたのですが、ダビデのような人物を見つけ出しました。ダビデ1人を立てると、ペリシテに完全に勝つようになります。証拠です。

▲黙想/空前絶後 - 皆さんがこの契約を持って、いまは行きます。特にレムナントは少しだけ祈れば良いのです。それを黙想と言います。では、いったい黙想はどんなものでしょうか。黙想は、神様が与えてくださったこれを持って、皆さんが単に答えを受けるものではありません。これを祈っていれば、本当にこれは皆さん

んが人が分からない答えが与えられます。空前絶後の答え、来るようになっています。ここに皆さんは証人になるでしょう。私は皆さんに教えることはできません。証人として来ました。私はこの契約を握って神様が与えてくださったこれを(空前絶後)見るようになりました。今回の集会以降に、祈っていて、必ず捜し出せば発見できるでしょう。空前絶後、このことばは、傲慢ではなくて、神様が私に空前絶後の答えを与えてくださいます。

▲本論-リズム(呼吸祈り)

では、すると、この祝福を味わうために、これからしてください。今から皆さんはこの祈りが私の生活のリズムになるようにするのです。私の生活のリズムになるように、これが二つ目に逃してはならない内容です。ところで、私は昔に祈りがよくできなかったのです。およそ 30 年前、35 年前でしょう。35 年前に、私が集中できる呼吸祈りを見つけ出しました。35 年前に、その前にもそうしていましたが、私はこれをして、一度も病んだことはありません。神様の働きを続けて味わいました。御座の祝福を体験すると、世界福音化の門が開かれました。だれでもすることができます。皆さんは神の子どもなので、することができます。いくら難しくても、レムナントは落胆せずに契約を握ってください。私たちの牧師、宣教師は重要です。この部分ができるようになるやぐらを建てて日本を生かしてください。これ(リズム)だけぴったりに乗れば良いのです。

1. プラットフォーム

▲最初です。このときから、何が成り立つでしょうか。プラットフォームが作られます。プラットフォームはほかの人が来るしかないことです。皆さんが橋をかければ、そちらへ来るしかありません。では、空港を作れば、飛行機に乗りに来るしかありません。小さな村に井戸を掘れば、水を汲みに来るしかありません。プラットフォーム...

1) 7 やぐら

▲今からずっと祈るのです。7 やぐら、ずっと祈るのです。

2) 300%

▲すると、この答えが来てしまいます。300%の答えが、このように来ます。

3) 記念碑

▲このように来れば、皆さんは証人になるのですが、記念碑を建てる証人になります。

2. 見張り台

▲では、その次について来ます。いよいよ、ほかの人を生かす光を放つ見張り台が建つようになっています。みな忘れても大丈夫です。

1) 7 旅程

▲このときから 7 旅程に行くようになります。

2) Healing

▲このときから、今から来ます。皆さんが行く所ごとに Healing が起こるのです。

3) サミット

▲皆さん行く所ごとに、もう多くのレムナントが起きるサミット運動が起こります。ある面では、これは分からなくてもかまいません。これだけやればできます。長老になったのに、祈りができない方々が多い

のです。そうでしょう。どれくらいくやしいでしょうか。作ってください。そして、このネフィリムやぐらを打ち倒してください。これを作ればなくなります。どこにいても大丈夫です。レムナントが祈りができるならば、どんな状況に会っても大丈夫です。ここにいる皆さんが祈りができるなら、どこにいても大丈夫です。皆さんは現場、家系を生かす見張り人です。見張り人はやぐらを作ってください。そうすれば、答えが押し寄せてきます。その人が来て癒やしが起こります。

3. アンテナ

▲そして世界と通じます。アンテナです。御座と通じます。

1) 7 道しるべ

▲7 道しるべを建てることができます。

2) 絶対やぐら

▲このときから何が出て来るでしょうか。皆さんのすべての学業、すべての職業は、全部、絶対やぐらに変わります。今、インマヌエルソウル教会も同じです。そこは本来、祈禱院だったのです。私たちがそれを借りて使って、これ私たちのものになったら良いなど、私が院長を訪ねて行って話しました。売ってください、売ってくれば私たちが買う、何をするつもりですか。ここに神学校もして、すること多い、この人が売らないでそのままいたのですが、ほかの人に売りました。お金をたくさんもらって売ったのでしよう。ある日、そこに大きな教会を作ったのですが、その教会が私たちの教会になりました。本当に不思議です。一か所だけでもなくて、色々な所、これからレムナントが行く所ごとに RUTC が建ち、神様の働きが確かに起こるようになるでしょう。

3) ミッションホーム、RUTC、地教会

▲そのようにして、皆さんを通して本当に三つのことが起こります。皆さんの現場がミッションホームです。教会を心配する必要がありません。皆さんが集まる所が RUTC です。多くの人を生かすようになります。それが地教会です。このようなアンテナが建つようになります。今日、皆さんがこの中に入れば、すべての解決がみな起こります。

* 結論

▲では、そうすると、このような結論を出してください。今日、イザ 62:6-12 が本文ですが、そこに何が出て来ていますか。このやぐらを建てなさいというのが、イザ 62:6-12 でしょう。みな忘れても大丈夫です。私の中に先に神様のやぐらを建てなさい。

1) 237

▲このときから、このような祝福が来るようになっていきます。このような祝福が来れば、いよいよ、今の門が続けて開かれるでしょう。このように門が開かれます。レムナントの基準、皆さんの職業の基準は何でしょうか。237 生かすことができる答えが与えられます。

2) 5 千種族

▲いよいよ門が開かれました。5 千種族を生かす答えの門が開かれます。

3) TCK

▲その中に私たちのレムナントと TCK です。この答えが来るようになっていきます。起きよ、輝け、なぜでしょう。主の栄光があなたの上に輝く。最も小さい者も軍団となり、最も弱い者も強国となる。わた

しは主。時が来れば、速やかにそれをする!」

▲今回メッセージ必ず握ってください。重要です。今回は決断を下してください。私は見張り人になる、決断してください。いまはもう私は神様のやぐらを建てて、ほかの人を生かす。残り1講義があります。私たちの世界宣教をどのようにするか、契約を握って行くのです。皆さんにすべての健康と5力が回復することを、イエス・キリストの御名によって祝福します。祈ります。

(祈り)

神様に感謝いたします。今回、すべてを回復する神様のやぐらが建ちますように。日本で世界福音化が起こる証人として立ちますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

(The end)

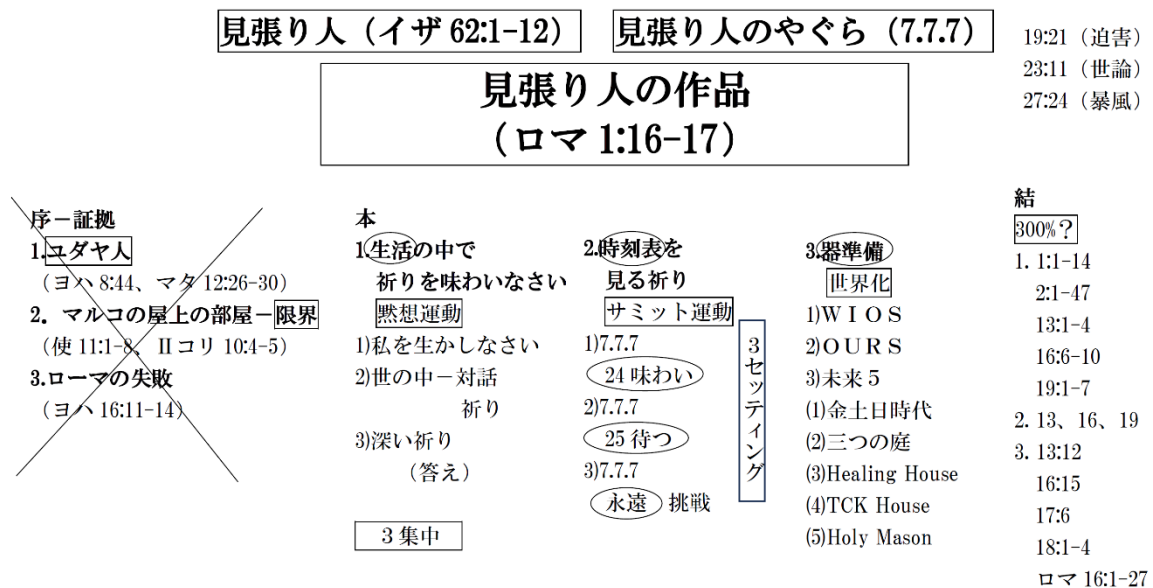
3 講:「見張り人の作品」(ロマ 1:16-17)
主題:世界を生かす日本の見張り人(イザ 62:6-12)

聖書のみことば(ロマ 1:16-17)

[16] 私は福音を恥としません。福音は、ユダヤ人をはじめギリシア人にも、信じるすべての人に救いをもたらす神の力です。

[17] 福音には神の義が啓示されていて、信仰に始まり信仰に進ませるからです。「義人は信仰によって生きる」と書いてあるとおりです。

‘24.10.09 日本東京3 講



* 序論

▲今までメッセージはみな忘れても大丈夫です。今、言うことだけ覚えれば良いです。ノートにも書くべきですが、皆さんの心にノートしてください。また、頭にも覚えなければなりません、生活に覚えてください。実際に、祈りで味わってください。祈りが皆さんの手に捕らえることができ、皆さんの生活が祈りの中に捕えられていれば、世界福音化は、たやすいです。

▲神様が皆さんを見張り人として呼ばれたと言いました。これは契約だけ握れば良いです。イザ 62:6-12に見張り人として呼んだと言われています。この見張り人は、やぐらがなければなりません。それでこそ、守ることができます。これが(見張り人のやぐら)2 講です。これが(見張り人)1 講です。見張り人のやぐらは、キリストが完成させたことを持ってしてください。これを(7/7/7)で続けてやぐらを建てれば良いのです。

▲2024 日本伝道集会 3 講:「見張り人の作品(ロマ 1:16-17)」

最後に日本が世界福音化すべきなので、「見張り人の作品」を作ってください。パウロが作ったことを一番モデルにすれば良いでしょう。パウロはたくさん学んだ人です。そして背景があります。そのすべてがキリストよりすばらしいことを確認しました。多くの人々がパウロを見て狂ったと言った人々もいました。

惜しいという人もいました。あまりにも人材でしたから、あの人がなぜあのようになったか、こういう人もいました。そのときパウロが言ったことばがロマ 1:16 です。いろいろな人がそのように言っても恥ずかしくないと言いました。これだけが異邦人とユダヤ人生かす力が備わっていると言ったのです。「義人は信仰によって生きる」

▲今から人から学ぼうとせずに、祈りで始めてください。また、世の中の方法のとおりせずに、私たちは世の中を生かさなければならぬので神様の方法でしてください。ヨーロッパ、アメリカ、こういう所に学ぶことはありません。今、門を閉じているでしょう。門を閉じている所に学んで良いでしょうか。私が日本に一番初めて集会で言ったことです。韓国教会に学ばないでくださいと言いました。韓国教会に学べば大変なことになると言ったのです。聖書にあることをしてくださいと言いました。それで、その結果、今、韓国教会も門を閉じています。

▲序論-証拠

それゆえ、その証拠、私が単に言っている話ではありません。

1) ユダヤ人(ヨハ 8:44、マタ 12:26-30)

▲ユダヤ人は7回わざわいを受けました。学ぶことはありません。学べば大変なことになります。イエス様はこのように恐ろしい話をされました。あなたがた、救われていない悪魔の子どもだと言われました。それゆえ、サタンがあなたの中に家を作っている、それで学ぶ必要はないのです。皆さんは祈りをもって学んでください。分かるでしょう。

2) マルコの屋上の部屋の限界(使 11:1-18、Ⅱコリ 10:4-5)

▲マルコの屋上の部屋も限界がありました。この人々のことを学んではなりません。イエス様のことを学ばなければなりません。どの程度、限界あったかという、コルネリウスが救われたことを論議しました。パウロは、この教会信徒に、ものすごいサタンの要塞を持っていると話しました。

3) ローマの失敗(ヨハ 16:11-14)

▲その証拠、ローマ福音化はできませんでした。後には、ローマが世界福音化されたのです。これも失敗しました。それゆえ、ヨハ 16:11-14 にサタンの王国になったことを話しています。ですから、こういうものを学んでも良いでしょうか。驚くべきことに、今、世界教会はユダヤ人がするそのまましています。驚くことでしょう。今も多くの長く信じている人々が、マルコの屋上の部屋の限界をそのまま味わっています。今、多くの教団がローマにあった教権、そのまま味わっています。してはなりません。異端の濡れ衣を着せられてもしてはなりません。

▲本論-皆さん、今から始めれば良いのです。今から始めてください。

1. 生活の中で祈りを味わいなさい - 「黙想運動」

▲今、この時間から、最初です。生活の中で祈りを味わいなさい。これが黙想運動の始まりです。これがものすごい、生活の中で味わうということです。

1) 私を生かす祈り

▲朝には無条件に私を生かす祈りを始めてください。そのように朝には私を生かす祈りを続けて...

2) 世の中 - 対話祈り

▲昼には、世の中を生かす対話祈りを続けてください。神様との対話です。

3) 深い祈り (答え)

▲夜には答えを受けて力を受ける深い祈りに入ってください。いつも答えを受けるのです。それゆえ、朝に皆さんを生かす祈りをしてこそ、昼も、夜も生かされます。今、私たちの中には二つのことが続けて起きています。サタンのやぐらが作られていて、また、神様のやぐらが作られているということです。すると、どんな戦いをすべきでしょうか。答えが出て来ます。

2. 時刻表を見る祈り- 「サミット運動」

▲二つ目です。時刻表を見る祈りをしてください。時刻表を見るのです。これはサミット運動をするのです。皆さんが霊的にそのどこより高いサミット運動をします。時刻表をどのように見れば良いのでしょうか。

1) 7/7/7- 24(味わう)

▲最初です。キリストが与えてくださったやぐら/旅程/道しるべを 24 味わってください。このようにすれば良いのです。私は朝に目が覚めれば、ゆっくり呼吸に合わせて 7/7/7 祈りを継続して、息を吐き出す時は今日の日程と現場に続けてします。朝にゆっくり、平安に、これは息を吸い込むとき、私が受け入れることによって味わい、息を吐き出す時は私が行く所に現場に、これを続けて味わうということです。単に味わうのではなく、ものすごいことを味わうということです。

2) 7/7/7- 25(待つ)

▲では、二つ目です。7/7/7 が 25 になるように待ちます。とても重要です。これは(25)待って味わって、これは(24)味わって待つのです。これはものすごい力を受けて、続けてタイムを見ることです。

3) 7/7/7-永遠(挑戦)

▲もう夜には、この 7/7/7 を永遠という作品に挑戦するのです。

▲できるでしょうか。できないでしょうか。皆さんが 1 番(本論)だけ続ければ、どんな病気も癒やされます。頭がちょっと良い人々は、霊的な困難がちょっと来ることがあります。簡単に、必ずすべきです。ひょっとして、親が少し霊的に偶像崇拝に近いところにいたならば、さらに皆さんはこれをしてください。同じ話ですが、時刻表を話すのです。これを皆さんが続けて味わえば、とても大きな力が生まれます。なぜでしょうか。

▲目に見えないように①三位一体の神様が私に臨在するということです。そして②御座の力が私に臨むのです。ものすごいでしょう。このとき、私の③過去/現在/未来を神様がすでに解決してしまわれたのです。また④5力が臨むように祈ります。続けて、⑤空中の権威を持つ支配者に勝つ力を受けるように、そして⑥CVDIPをあらかじめ見て、伝達できる力を求めて続けて、⑦三つの庭、祈っています。重要な教会と建築する教会、私たちの教会、重要な働きが起こるように祈っています。三つの庭に確実な答えが出て来るでしょう。私はそれを信じて、建物もう一つ買うことにしました。KTの建物が出ているので、多分契約するようになるでしょう。その多くのお金がどこから出て来るのでしょうか。祈っています。続けています。

▲私はそのまま 24 します。それがさらに楽です。時間を定めて祈る、私は大変です。いろいろ複雑なことはありません。これが私に臨むように、現れるように、皆さんがそのように祈ってください。勉強する人は、ここに合う息を正しく調節して祈れば病気も治ります。今起こっている一番恐ろしい病気が、全部脳の病気でしょう。これをすれば脳が生かされます。また、祈り、7/7/7 に続けて入るので、私の霊が生かされます。単にするものではありません。続けて皆さんが何か時代を動かすように祈ります。これを指して 3 集中、単に

集中するのです。すると、自然に働きは起こります。これを指して3セッティング、この答えが来ればプラットフォームと見張り台、アンテナが作られるようになっているということです。

3. 器準備 - 「世界化」

▲重要な三つ目です。器準備をすべきでしょう。器準備する祈りが必要です。これは世界化する運動です。では、するとどんな答えが来るのでしょうか。器準備すると、来るようになっています。

1) WIOS

▲神様が皆さんとともにおられます。神様が皆さんの教会にインマヌエルで働かれます。神様が Oneness で働かれます。すべてのことがともに働いて益となります。昔に私が大きな苦しみにあったのですが、これが大きな祝福に変わります。このシステムを作るのです。これが器準備することです。

2) OURS

▲その次に来ます。私にいいよ、ほかの人見ることができないことが見えるのですが、それを指して、ただ、すると、ほかの人も知るようになります。訪ねて来ます。唯一性。すると神様だけができることでこそ、日本福音化することができます。日本福音化は私が大学勉強したことではできません。これでこそできるので再創造、ここにシステムが作られるのです。これがとても重要です。

3) 未来5つ

▲それとともに、とても重要な5つの未来を準備してください。

(1) 金土日時代-最初です。これから、これをしてください。金土日時代、これ準備してください。そして、しきりにさっき PK に話したのですが、あまり出しゃばろうとせずに、本当に捨てられた所、空いた所、崩れた所、確認してください。

(2) 3 庭-そして三つの庭を確実にするのです。この準備です。

(3) Healing house - これために、いくつかのことが準備すれば良いのです。これから、重職者は、皆さんの名をつけた Healing house を教会に作ってください。レムナントはあらかじめ祈ってください。私はこれから足跡を残す Healing house を教会に建てる、外に建てるではありません。門を閉めるようになります。教会の中でしてください。

(4) TCK house - TCK house、してください。先週に私がソウルで長老にそのような話をしました。多民族が私たちの教会に来て、来なくても関係なく、思う存分、味わえるようにビルディングのようなものを建てなさい、それも私たちの教会と関係なく、一番活動しやすい場所、それが世界福音化だとそう言いました。レムナントがどこで宿泊するかが人生を決めます。これをしなさいということです。教会の信徒 1 人が天に召されて、自分の財産何十億ウォンを出しました。それゆえ、その人の名前をつけて TCK house にしなさいと言いました。ですから、多民族とレムナントが、TCK という単語は、必ず韓国の人と外国の人を区分するものではありません。TCK house です。

(5) Holy mason - Holy mason、偶像文化を止める神殿、作ってください。祈ってください。これさえできれば出て来ます。

▲Healing house を、なぜするのでしょうか。先週に多くの話をしました。病んでいる者、障がい者が親がいなくても一生、信仰生活できるように作ってください。何をいろいろ計算して、こういうことをせずに、一生、休むことができる場所を作りなさい。それゆえ、私たちを神様が山の町に送られたのです。空いている土地を買って、思う存分味わうようにして、お金がある人々はみな教会に献金して、ほかのと

ころに使うのはみな必要がありません。悪魔の使いをするのではないのでしょうか。世の中の使いをすることではないのでしょうか。それをして去って行くのでしょうか。5つの時代が開かれます。知っているでしょう。器準備をしてください。祈りという、その話です。そして Holy mason は何でしょうか。これから、数年すると、このような会館を借りなくとも良いように教会が準備をして、そのようにしてくださいということです。神様が働かれればできないことはありません。私は私たちの釜山に神殿建築をおいて特に祈りもしません。なぜでしょうか。なることだから、私はこの祈りだけします。必ず覚えてください。からだが病んでいたり、助ける人がいなくて、無力な人々も多いのです。始めてください。そして、このやぐらを建ててください。そしてこの器準備をするのです。これを一生、続けるのです。これが神様の作品、間違いありません。

* 結論:300%準備

▲結論です。300%をどのようにするのでしょうか。では、300%にするには、これをどのようにするのでしょうか。

1)使 1:1-14、使 2:1-47、使 13:1-4、使 16:6-10、使 19:1-7

▲最初です。完ぺきな聖霊の導きを受ければ良いのです。それが何でしょうか。続ければ良いです。確実になる時まで、いつ来るでしょうか。来るときまでやれば良いのです。来なければ、しなければ良いです。

(1)使 1:1-14、300%の一つ目の 100%は何でしょうか。40 日間、神の国を説明されたのですが、ミッションが確実に来たということです。そうでしょう。そのとき、降りて来ました。降りてきて、ひたすら祈りに専念したのです。レムナントの学業もこのようにしてください。よく聞いてください。事業する方もこのようにしてください。伝道もこのようにしてください。宣教もこのようにしてください。必ず覚えてください。

(2)使 2:1-47、それで、降りてきたところ、この最高の答えが来ました。五旬節の日になって、「私はなぜうまくできませんか」違うことをするからです。うまくできないのではなくて、うまくいっているのです。これ(300%)をなさいと。「私はなぜ滅びましたか」滅びたのではありません。これ(300%)をなさいと。これ(序論)をせずに、「なぜ私たちの教会は試みにあうのですか」これ(300%)をなさいと、皆さんが今しているのは間違っているでしょう。これをなさいと。ここに(序論)にあるこの人々が何をしたかということ、ほかのこと、似たこと、間違ったことをしました。確実にしてください。

(3)使 13:1-4、そして、この人が、パウロがしたことを見てください。完ぺきな聖霊の導きを受ける時まで待ちました。だれが見ても聖霊の導きであることが確実なのが、出て来ました。これを指して準備する専門性 100%、むやみにしませんでした。

(4)使 16:6-10、マケドニアに...

(5)使 19:1-7、ローマに行く前に確実な答えを受けました。

2)使 13/16/19 章

▲二つ目の 100%です。現場を癒やすのです。病んでいます。人を癒やすのです。国家を癒やすのです。個人が病んでいます。癒やすのです。精神病、うつ病、続けて多くなります。癒やすのです。それが使 13/16/19 章です。そうでしょう。

3)使 13:12、使 16:15、使 17:6、使 18:1-4、ロマ 16:1-27

▲その次になんのでしょうか。持続できる確実なシステムを作るのです。総督、リディア、行き来する人は

そのまま行き来すれば良くて、用いられる人々は別にいます。ヤソン、プリスカ夫婦、より重要なことは何でしょうか。ロマ 16 章の人々、このように準備をすれば良いのです。

▲使 19:21 (迫害)/使 23:11 (世論)/使 27:24 (暴風)

それとともに、常に暗闇が一番多い所を狙ってください。常に 237 か国、5 千種族がいる所を狙ってください。19:21 です。これが皆さんが下すべき決断ですが、パウロが宣教運動三度、回りました。このとき、ものすごい迫害が起こりました。ローマも見なければならぬ、そうです。このときに握りました。ローマも見なければならぬ、いつでも世論というのはあります。この世論は、騒ぐのが世論です。騒ぎます。初代教会をなくすように、騒ぎます。異端だと騒ぐのです。そうだったでしょう。そのときに法廷に立った時です。神様がみことばを与えてくださいました。パウロ、勇気を出しなさい、ローマでも証しをしなければならぬ、このような結論で、決断を下してください。裁判を受けに行き、暴風に会ったのです。この暴風は、ものすごい意味があることです。実際に起こったのですが、霊的に見る時は、全世界は暴風にあっています。なぜでしょうか。神様のみことばを信じません。人の話も信じて、お金も信じて、みな信じるのに、神様のみことばだけ信じません。伝道者の言葉を信じません。パウロが話すと、暴風にあうと言ったら、あざ笑いました。人々は世論が好きです。私たちのフェニクスに行き休もうと、船長もパウロを信じません。船長に暴風にあうのかと尋ねたところ、大丈夫だと言いました。船主も、船の主人でしょう。大丈夫だということです。なぜそうでしょうか。そのときの引率者がユリウスという百人隊長だったということです。心配になって、パウロが暴風にあうと話したので、心配になったでしょう。何のこともない。良く行きます。そら見ろ、良く行く、本来そうです。突然に、強い風が吹いて来ました。それも暴風が押し寄せて来たのです。船が沈みます。どれくらいひどく来たのでしょうか、夜なのか、昼なのか区分もできません。そのとき、神様が使いを送られたのです。祈る中に知らせてくださったでしょう。昨日の夜に主の使いが、そう言いました。恐れることはありません。パウロよ。カエサル前に立ちます。それで終わりです。276 人が惜しいから、助けるということではありません。何千名でも死ぬことはあります。パウロが、それまでしたことがとても多いから、本当に助ける、ではありません。パウロは学んだことが多くて、良い人物です。それゆえ助けるということではありません。たった一つの理由、恐れることはありません。パウロよ。あなたはカエサル前に立ちます。皆さんが福音を証しする働きが残っているならば、絶対に暴風も皆さんに勝つことはできません。

▲今日、日本伝道弟子がこのメッセージを持って行ってください。今も祈ってください。それでこそ、健康が回復します。霊的力が回復します。がんになった人は本当に 24 してください。そして、皆さんが日が経つにつれ、力が生まれるべきで、日が経つにつれ力が抜けてしまえばできません。パウロは日が経つにつれ、内なる人が新しくなると言いました。この力を日本が今日から味わうことを、イエス・キリスト御名で祝福します。私たちの神様に栄光の拍手をささげましょう。祈ります。

(祈り)

神様に感謝いたします。短い時間ですが、1 千年の時間になりますように。日本を生かして世界福音化が始まり、重職者とレムナントがともに立ち上がる時間になりますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

(The end)